

静岡市中心市街地で自衛隊をPR

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・杉谷康征1等空佐）は5月16日（日）、静岡駅北口地下広場イベントスペース（静岡市）において、自衛官募集をPRするための広報活動「シズチカガイダンス」を行った。

新型コロナウイルスの影響により自衛隊をPRする機会が激減する中、隊員で有効な広報活動はないかと検討した結果、静岡駅北口の地下通路で広報ブースを開設できることになり、当日は買い物客など多くの来場者で賑わった。

ブース正面には通行人の目を引く陸・海・空自衛隊の制服や彩り豊かな防衛記念章、陸上自衛隊の職種き章などを設置。

その奥の自衛隊活動パネルコーナーでは、災害派遣活動の様子や女性自衛官の活躍を写真で紹介し、映像コーナーでは自衛隊のイメージを覆す広報動画「それ誤解ですから」や女性自衛官をクローズアップした「Jガール」などを流し、周知を図った。

また、自衛官採用制度説明コーナーも設置。採用種目や職種などを分かりやすくまとめたチャートを前に広報官が説明を行い、来場者の質問に答えて自衛隊について理解を深めてもらった。

来場者からは「気さくな隊員の方と話をして、自衛隊のことをより知ることができた」「子供と進路について話していて、タイミング良く自衛隊の話を聞くことができてよかった」などの感想が聞かれた。

静岡地本は、このような活動を通して市民に自衛隊の存在を身近に感じてもらうとともに、自衛官を目指す若者のナビゲーターを担っていく。



清水学院高等専修学校で自衛隊をPR

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・杉谷康征1等空佐）は5月20日（木）、清水学院高等専修学校（静岡市）において、同校の3年生8人に自衛隊の職業説明を実施した。

この説明会は、職業としての自衛官の魅力を発信し、進路選択の一つとして意識してもらうため行ったもの。

陸上自衛隊の広報映像を放映後、清水募集案内所広報官の中島法史2等陸曹が、スライドを使って自衛隊の概要や国防の重要性と仕事のやりがいをわかりやすく説明すると、生徒たちは興味津々な様子で話に聞き入っていた。

また、後半は中島2曹の専門分野である「偵察」にちなみ、観察力と記憶力を高めるミニゲームを行った。机の上に隊員が使う帽子や望遠鏡などを置き、生徒が1分間見た後に覆いをして、どこに何が置いてあったかを当てる「キムスゲーム」で教室は大いに盛り上がった。

説明を聞いた生徒からは「自衛隊のイメージをつかむことができた」「採用試験を受けてみたい」といった感想が寄せられた。

静岡地本は今後も学校と協力し、各種説明会を実施して自衛官の魅力を伝え、生徒たちの職業選択の一つとして自衛官を認識してもらえよう努めていく。



概要説明



キムスゲーム